

平成16年9月28日

各位

会社名 株式会社グローバルス  
代表者名 代表取締役社長 久永 真一  
コード 3528 東証2部  
問合せ先 執行役員総務部長 田中利久雄  
電話番号 03-3470-8411

**「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用に伴う  
平成17年3月期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成16年9月28日開催の取締役会において、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成17年3月期中間決算に早期適用すること及び、平成17年3月期末の1株当たり配当予想を無配とすることを決議致しました。

これに伴い、平成16年5月21日に公表した平成17年3月期（中間期及び通期）の業績予想並びに配当予想を、下記のとおり修正致しますのでお知らせ致します。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用について

当社は、主力のマンション分譲事業が堅調に推移するなか、「コア事業への経営資源集中」を一層推進するためコア事業と関連性の薄い不動産賃貸事業を縮小・整理する計画です。

その過程において、不動産賃貸資産については「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用を速やかに行い、資産及び財務内容の抜本的な改善及び健全化を進めることを決定致しました。

なお、「固定資産の減損に係る会計基準」の対象となる固定資産は、賃貸稼働中のマンション等122戸及び土地3筆等であります。

2. 平成17年3月期業績予想の修正

(1) 中間期業績予想の修正（平成16年4月1日～平成16年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益 (中間純損失)
前回発表予想(A)	5,100	160	100
今回修正予想(B)	5,200	310	8,600
増減額(B)(A)	100	150	8,700
増減率	2.0%	93.8%	%
(ご参考)			
前中間期(平成15年9月期)	9,492	486	492

( 2 ) 通期業績予想の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益 ( 当期純損失 )
前回発表予想 ( A )	16,000	1,000	600
今回修正予想 ( B )	16,000	1,000	7,800
増減額 ( B ) ( A )	0	0	8,400
増減率	0.0%	0.0%	%
( ご参考 ) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	15,897	901	904

( 3 ) 業績予想修正の理由

主力のマンション分譲事業におきましては、自社ブランドの「ライオンズグローベル」マンションの当期竣工予定棟数は現在 11 棟あり、その販売活動は順調に推移しており、当期の売上高及び経常利益は当初計画を達成する見込みであります。

しかしながら、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用に伴い、当中間期において、不動産賃貸資産等を対象にした特別損失を 108 億円計上することにより、平成 17 年 3 月期の中間期及び通期業績について、中間純損失及び当期純損失が見込まれるため、業績予想の修正を行います。

今回の処理により、当社の減損処理対応は 1 年前倒しで完了することになります。

なお、今後の業績及び財務面では、減損会計処理の早期適用に起因した特別損失の処理に十分対応し得る状況にあり、事業及び財務戦略の短中期的展開に基づいた最善の損失処理対応策を採りつつ、マンション分譲事業に傾注し業績の更なる向上を図ると共に、財務体質の一層の強化並びに業容の拡大に努めて参る所存であります。

3 . 配当予想の修正について

( 1 ) 配当予想の修正

	中間期	期 末	通 期
前回発表予想	円	3 円 00 銭	3 円 00 銭
今回修正予想	円	0 円 00 銭	0 円 00 銭
( ご参考 ) 前期の 1 株当たり配当金	円	3 円 00 銭	3 円 00 銭

( 2 ) 配当予想修正の理由

「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用による特別損失の計上により、当期純損失へと業績修正を行うことに伴い、配当につきましては、誠に遺憾ではございますが当期は無配と修正させていただきたく存じます。

今後は、コア事業であるマンション分譲事業を主軸にした業績の急回復並びに更なる向上に努め、早期復配の実現を目指し全社一丸となり努めて参る所存であります。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上